

『戸田新細菌学』改訂34版 正誤表

いつも小社出版物をご利用いただき誠にありがとうございます。
「戸田新細菌学」(改訂34版1刷)に以下の誤りがございました。深くお詫びするとともにここに訂正いたします。

該当箇所	誤	正
p.39 右段 11 行目	L-Lys と D-ALa が	L-DAP と D-Ala が
p.41 表 II-2-4	(type II 架橋型式の中央) (Glu) ₅ または Ala	(Gly) ₅ または Ala
p.247 図 III-2-2 図下	単染色体	単染色
p.357 右段 9 行目	そこでWHOでは、この菌による感染をコレラに準じた取り扱いとすることになったが、日本においては要監視ではあるものの、今のところはコレラ扱いにはせず今後を見守ることになっている。1994年にはO139の流行はいったん下火になり、	そこでWHOでは、この菌による感染をコレラに準じた取り扱いとすることになった。日本においては当初、要監視としてコレラ扱いにはせず見守ることになっていたが、今ではコレラとして認められている。1994年にはO139の流行はいったん下火になり、
p.485 左段 下から 10 行目	ヒト顆粒球エールリキア症 human granulocytotropic ehrlichiosis (HGE)	ヒト顆粒球アナプラズマ症 human granulocytotropic anaplasmosis (HGA)
p.485 左段 下から 6 行目	この疾患はヒトアナプラズマ症 human anaplasmosis と呼ばれ、アメリカおよびヨーロッパで報告されている。	この疾患はアメリカおよびヨーロッパで報告されている。
p.497 右段 下から 3 行目	ウイルスの中で最も大きなポックスウイルスは	ウイルスの中で最も大きなものは
p.507 左段 9 行目	3. 動物でのウイルス増殖	3. 動物でのウイルス増殖
p.616 右段 16 行目	7,000~8,800 bp	7,000~8,800 塩基
p.616 右段 18 行目	600~1,300 bp	600~1,300 塩基
p.620 図 V-6-4 図下 2 行目	約 750 bp	約 750 塩基
p.629 右段 8 行目	約 70 bp	約 70 塩基
p.636 右段 10 行目	約 100 bp と 400~700 bp	約 100 塩基 と 400~700 塩基
p.695 右段 10 行目	MIP-1α (macrophage inflammatory protein-1α)	MIP-1α (macrophage inflammatory protein-1α)
p.817 左段 4 行目	スーパーオキシドジムスターゼ	スーパーオキシドジスムターゼ
p.860 左段 下から 4 行目	形質細胞様DC plasmacytoid DC	形質細胞様DC plasmacytoid DC
p.880 右段 6 行目	活性化誘導性シスチジンアミナーゼ activation-induced cystidine deaminase	活性化誘導性シスチジンアミナーゼ activation-induced cystidine deaminase
p.920 右段 9 行目	多発硬化症	多発性硬化症

青字は削除、赤字は変更もしくは追加を表しています。